

クローザ類 ②ヒンジクローザ

1. 評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和4年版16章8節に規定する建具用金物のうちのヒンジクローザとする。

2. 品質・性能等

- (1) 品質・性能について、「評価内容（別紙）」の項目を確認している。
- (2) 主要な資材について、材質および資材メーカーから申請者の製造所への納入ルートを確認している。
- (3) 性能について、実施要領に規定する試験機関による試験結果等で確認している。

3. 名簿の「詳細事項」に関する注意事項

- (1) 材料の閉じ力による区分、取り付け方法及びストップ装置の有無による区分の詳細は、「評価名簿詳細事項」として掲載している。
- (2) 「取り付け方法及びストップ装置の有無による区分」は、該当する製品名を示している。

評価内容（別紙）

クローザ類 ②ヒンジクローザ

項目			品質・性能			備考																			
材 料	見え掛り 部の材質	丁 番 形	鋼製（焼付け塗装）																						
		ピボット形	カバー部	ステンレス製																					
			本 体	鋼製																					
性 能	初期値	閉じ力および効率による区分	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番手</th> <th>閉じモーメント (N・m)</th> <th>効率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5 以上</td> <td rowspan="2">30 以上</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10 以上</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>15 以上</td> <td>35 以上</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>25 以上</td> <td>40 以上</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>35 以上</td> <td rowspan="2">45 以上</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>45 以上</td> </tr> </tbody> </table>			番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	1	5 以上	30 以上	2	10 以上	3	15 以上	35 以上	4	25 以上	40 以上	5	35 以上	45 以上	6	45 以上	
			番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)																				
			1	5 以上	30 以上																				
			2	10 以上																					
			3	15 以上	35 以上																				
			4	25 以上	40 以上																				
	5	35 以上	45 以上																						
6	45 以上																								
閉 じ 速 度 (秒)	常温 (5~35℃) 無風状態において、開扉 (70°) から全閉 (0°) までの時間を 5~8 秒に調整できること。																								
温 度 依 存 性 (緩衝油の流動点) (℃)	-15 以下																								
ス ト ッ プ 力 (N・m)	入 力 : 100 以下 解除力 : 3 以上																								
耐 久 性	繰返し開閉後の 閉じモーメント (N・m)	耐久試験後も、初期値の性能を満足すること。																							
	繰返し開閉後の 効 率 (%)	同 上																							
	繰返し開閉後の 閉 じ 速 度 (秒)	同 上																							
外 観 お よ び 機 能	製 品 お よ び 付 属 品 の 形 状	全体の形状が正しく、傷がなく、機能および耐久性を減ずるような欠陥がないこと。																							
	機 能	ドアを確実に閉じ、働きは円滑で、調整弁は自由に速度調節ができること。																							
	ス ト ッ プ 装 置 の 機 能	ストップ装置のあるものは、所定の開き角度で容易にストップがかけられること、また外せるものとする。																							
	取 付 け 部 品	必要な取付け部品が付属していること。																							
試 験 方 法	<p>1. 試験の条件等は、JIS A 1510-3 の「5. 試験の一般条件」、「6.1 試験の概要」および「6.2 試験装置」による。</p> <p>2. 閉じ速度試験およびストップ力試験は、JIS A 1510-3 の「6.3. 1 フロアヒンジ及びヒンジクローザの開閉試験」による。</p> <p>3. 温度依存性（流動点試験）は、JIS K 2269 による。</p> <p>4. 繰返し開閉試験は、JIS A 1510-3 の「6.3. 1 フロアヒンジ及びヒンジクローザの開閉試験」による。なお、繰返し開閉回数は、10 万回とする。</p> <p>5. 試験体は、申請品のうちから、1. 丁番型、2. 持出し吊り込み型、3. 中心吊り込み型の優先順位を原則とし、当協会と協議のうえ選定する。</p> <p>6. 試験ドアの質量は、1 番手は 25kg、2 番手は 40kg、3 番手は 60kg、4 番手は 80kg、5 番手は 100kg、6 番手は 120kg とする。</p>																								